

見つけた。
何が？
— 建築が。



Le Corbusier and the Age of Purism

世界遺産 国立西洋美術館開館60周年記念

ル・コルビュジエ 絵画から建築へ—ピュリスムの時代

2019 2.19(火) » 5.19(日)



国立西洋美術館 本館
The National Museum of Western Art [東京 上野公園]

[休館日] 毎週月曜日(ただし3月25日、4月29日、5月6日は開館)、5月7日(火)
[開館時間] 午前9時30分～午後5時30分 毎週金曜日・土曜日は午後8時まで
* 入館は閉館の30分前まで

[主催] 国立西洋美術館、ル・コルビュジエ財団、東京新聞、NHK [後援] 在日フランス大使館/アンティエム・フランス日本、在日スイス大使館、公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本建築学会 [協賛] 大日本印刷 [協力] フランス文化財センター、日本航空、ヤマトグローバルロジスティクスジャパン、Echelle-1、八十島ブロード、西洋美術振興財団



東京新聞



世界遺産で、「ル・コルビュジエ」の原点を観る。



20世紀建築の巨匠ル・コルビュジエ(1887-1965)が設計した国立西洋美術館本館は、2016年にユネスコ世界文化遺産に登録されました。開館60周年を記念して開催される本展は、若きシャルル=エドゥアール・ジャンヌレ(ル・コルビュジエの本名)が故郷のスイスを離れ、芸術の中心地パリで「ピュリズム(純粹主義)」の運動を推進した時代に焦点をあて、絵画、建築、都市計画、出版、インテリア・デザインなど多方面にわたった約10年間の活動を振り返ります。

第一次大戦の終結直後の1918年末、ジャンヌレと画家アメデ・オザンファンは、機械文明の進歩に対応した「構築と総合」の芸術を唱えるピュリズムの運動を始めました。そして、絵画制作に取り組みながら新しい建築の創造をめざしたジャンヌレは、1920年代パリの美術界の先端を行く芸術家たちとの交流から大きな糧を得て、近代建築の旗手「ル・コルビュジエ」へと生まれ変わります。

本展はル・コルビュジエと彼の友人たちの美術作品約100点に、建築模型、出版物、映像など多数の資料を加えて構成されます。ル・コルビュジエが世に出た時代の精神を、彼自身が作り出した世界遺産建築の中で体感できる、またとない機会となるでしょう。



ル・コルビュジエ「アメデ・オザンファンの住宅兼アトリエ」
1922-23年設計 Photo Charles Gérard ©FLC



- ① シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ(ル・コルビュジエ)
《多数のオブジェのある静物》
1923年 パリ、ル・コルビュジエ財団
Paris, Fondation Le Corbusier
© FLC/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2018 B0365
※表面は部分
- ② アメデ・オザンファン《和音》
1922年 ホノルル美術館
Honolulu Museum of Art, Gift of John Gregg Allerton, in honor of the Academy's 40th anniversary, 1967 (3478.1)
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2018 B0365
- ③ パブロ・ピカソ《静物》
1922年 パリ国立近代美術館(ポンピッドウ・センター)
Paris, Centre Pompidou - Musée national d'art moderne - Centre de création industrielle, Don de Raoul La Roche en 1952
Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI, Dist. RMN-Grand Palais / Philippe Migault / distributed by AMF
©2018 - Succession Pablo Picasso - BCF (JAPAN)
- ④ ジョルジュ・ブラック《食卓》
1920年 ウィーン、アルベルティナ美術館
Vienna, The Albertina Museum. The Batliner Collection
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2018 B0365
- ⑤ フェルナン・レジュ《サイフォン》
1924年 バッファロー、オルブライト=ノックス美術館
Collection Albricht-Knox Art Gallery, Buffalo, New York, Gift of Mr. and Mrs. Gordon Bunshaft, 1977 (1977:29)
Image courtesy of the Albricht-Knox Art Gallery
表面写真: パリ、ジャコブ通りの自宅におけるル・コルビュジエ © FLC

本展会期中、常設展は新館展示室のみで開催されます。世界遺産に登録された本館展示室をご覧いただくには、本展観覧券が必要となりますのでご注意ください。

観覧料金

	一般	大学生	高校生
当日券	1,600円	1,200円	800円
前売券/団体券	1,400円	1,000円	600円

*中学生以下は無料。*団体は20名以上。
*心身に障害のある方と付添者1名は無料(入館の際に障害者手帳をご提示ください)。
*前売券は2018年11月19日(月)から2019年2月18日(月)まで販売。
国立西洋美術館では2018年11月20日(火)から2019年1月20日(日)まで販売。

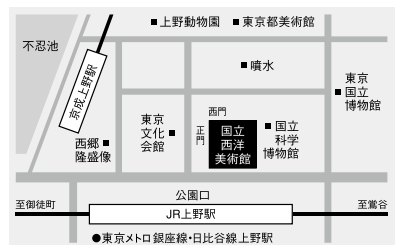
【チケット販売場所】国立西洋美術館、展覧会ホームページ(電子チケット「スマチケ」)、イープラス、チケットぴあ(Pコード:769-354)、ローソンチケット(Lコード:32655)、CNプレイガイド、楽天チケット、Yahoo!チケット、JTベリサーチチケット、主要コンビニ店頭、東京新聞販売店など。
※手数料がかかる場合があります。 ※一部の販売場所では、取扱のない券種もございます。

相互割引

東京ステーションギャラリー
「アルヴァ・アアルト もうひとつの自然」展
【2019年2月16日(土)~4月14日(日)】

本展のチケット(半券可)のご提示で、アルヴァ・アアルト展の当日券が100円割引、またアルヴァ・アアルト展のチケット(半券可)のご提示で、本展の当日券が100円割引になります。
※会場チケット売場で当日券をお求めの際に有効です。

交通案内



〒110-0007 東京都台東区上野公園1-7
●JR上野駅下車(公園口)徒歩1分
●京成電鉄京成上野駅下車 徒歩1分
●東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅下車 徒歩8分
*駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

本展会期中限定! 特別建築ツアー

【2019年3月3日(日)~5月19日(日)】
第2・4水曜および毎週日曜日 15:00~
ル・コルビュジエ設計の本館と前庭、そして普段は立ち入ることのできない旧館長室を含めた、ボランティアスタッフによる特別建築ツアーを期間限定で実施します。
※国立西洋美術館ホームページから事前申し込みが必要です。



その他、会期中はさまざまな講演会・イベントなどが行われます。詳しくは展覧会ホームページをご覧ください。